

和文文献

2020年度

赤木 究.

【婦人科医が知っておくべきがん遺伝子パネル検査の基礎知識】
がん個別化治療への道筋 コンパニオン診断薬婦人科がんを中心に
産婦人科の実際 2020.07, 69巻7号 Page729-734

赤木 究.

【ゲノム医療におけるエキスパートパネル】
いわゆる二次的所見と遺伝性腫瘍
病理と臨床 2020.06, 38巻6号 Page499-502

赤木 究.

【マイクロサテライト不安定性 (MSI) の病理と臨床】
Lynch症候群
病理と臨床 2020.05, 38巻5号 Page429-432

赤木 究.

【がん免疫療法の最前線】
他領域における免疫療法のupdate 高頻度マイクロサテライト不安定性を有する固形がん
JOHNS 2020.04, 36巻4号 Page477-480

2019年度

赤木 究.

遺伝性腫瘍の診断.
臨床放射線. 2020.3, 65(3), p189-194.

赤木 究.

遺伝性腫瘍 DNAミスマッチ修復機能欠損とリンチ症候群.
腫瘍内科. 2019.10, 24(4), p363-369.

赤木 究.

【研究者間, 研究者-医療者間のリンケージ】Dial Studyグループ リンチ症候群における臨床ゲノム情報統合データベースの構築(AMED事業).
家族性腫瘍. 2019.9, 19(1), p13-14.

風間 伸介, 松澤 夏未, 西澤 雄介, 西村 洋治, 西村 ゆう, 赤木 究, 川島 吉之, 坂本 裕彦.
KIT遺伝子exon 9に変異を認めた直腸GIST(径10cm)の1例.
日本臨床外科学会雑誌. 2019.9, 80(9), p1726-1733.

赤木 究.
ミスマッチ修復機能欠損腫瘍に対する抗PD-1抗体薬を用いた治療.
臨床消化器内科. 2019, 34(6), p667-671.

2018年度

山本 梓, 江口 英孝, 鈴木 興秀, 近 範泰, 伊藤 徹哉, 田島 雄介, 構 奈央, 長井 智則, 高井 泰,
關 博之, 赤木 究, 岡崎 康司, 石田 秀行.
術前遺伝学的検査にてEPCAM遺伝子欠失によるリンチ症候群と診断した盲腸癌の1例.
癌と化学療法. 2018.12, 45巻13号, p2202-2204.

賀川 義規, 加藤 健志, 坂東 英明, 赤木 究, 傳田 忠道, 仁科 智裕, 小松 嘉人, 沖 英次, 工藤
敏啓, 山中 竹春, 吉野 孝之.
A multicentre,prospective clinical evaluation study for analyzing RAS mutational status utilizing plasma
circulating tumor DNA in patients with metastatic colorectal cancerの解説.
腫瘍内科. 2018.11, 22巻5号, p566-570.

山本 英喜, 檜井 孝夫, 在津 潤一, 倉岡 和矢, 谷山 清己, 赤木 究.
マルチ遺伝子パネル検査でDNAシーケンスとRNAシーケンス併用の有用性が示唆された一例.
臨床病理. 2018.10, 66巻補冊, p222.

横井 左奈, 井内 俊彦, 伊丹 真紀子, 角田 美穂, 赤木 究.
マイクロサテライト不安定性と脳神経膠腫の新WHO分類.
臨床病理. 2018.10, 66巻補冊, p168.

田中屋 宏爾, 佐藤 由美子, 清弘 真弓, 勝又 なつ実, 赤木 究.
【知っておこう!遺伝性消化器疾患】 Lynch症候群.
消化器内視鏡. 2018.8, 30巻8号, p1047-1051.

伊藤 謙, 風間 伸介, 石井 博章, 西澤 雄介, 西村 洋治, 赤木 究, 坂本 裕彦.
Lynch症候群のサーベイランスで発見された腸回転異常症を伴う盲腸癌の1例.
日本大腸肛門病学会雑誌. 2018.8, 71巻8号, p324-329.

中村 祐基, 福井 直隆, 酒井 康之, 影山 幸雄, 石川 文隆, 赤木 究.
両側腎腫瘍より診断された遺伝性平滑筋腫瘍 腎細胞癌症候群の1例.
泌尿器外科. 2018.4, 31巻4号, p449-450.

2017年度

宮部 泉, 赤木 究.

【NGS時代における遺伝性腫瘍の診断とマネジメント】

遺伝性腫瘍におけるデータベースの活用と問題点.

最新医学. 2018.3, 73巻3号, p323-327.

森 至弘, 山田 達也, 江原 一尚, 新井 修, 影山 優美子, 川島 吉之, 野村 聡, 神尾 幸則

岡 大嗣, 福田 俊, 坂本 裕彦, 大庭 華子, 黒住 昌史, 赤木 究.

多発性内分泌腫瘍症1型(MEN1)に伴うと考えられる多発胃神経内分泌腫瘍(NET)に対し腹腔鏡下胃全摘術(LTG)を施行した2例.

癌と化学療法. 2017.11, 44巻12号, p1114-1116.

甲畑 宏子, 四元 淳子, 青木 美保, 大石 陽子, 内田 信之, 赤木 究, 吉田 雅幸.

わが国における遺伝性乳癌・卵巣癌症候群における遺伝カウンセリング受診の障壁.

医療と社会. 2017.8, 27(2), p261-275.

2016年度

赤木 究.

がんゲノム医療に伴う遺伝医療・遺伝カウンセリングの新たな課題.

医学のあゆみ. 2016.7.30, 258(5), p393-399.

赤木 究.

遺伝性腫瘍における効率的な遺伝子診断.

産科と婦人科. 2016 5.19, 83(6), p635-641.

赤木 究.

遺伝性腫瘍の治療に関する新しい潮流.

日本医師会雑誌. 2016.7, 145(4), p696-699.

2015年度

石田 秀行, 岩間 毅夫, 富田 尚裕, 小泉 浩一, 赤木 究, 石黒 めぐみ, 渡邊 聡明, 杉原健一.

遺伝性大腸癌の診療とガイドライン. Clinical practice and guidelines for hereditary colorectal cancer.

家族性腫瘍学 (臨時増刊号) 日本臨床 .2015, p547-551.

石田 秀行, 赤木 究.

家族性大腸腺腫症の家族（血縁者）への対応.

ガイドラインサポートハンドブック 大腸癌 2014年版. 医薬ジャーナル社. 2015, p294.

石田 秀行, 赤木 究.

リンチ症候群確定患者の家族（血縁者）への対応.

ガイドラインサポートハンドブック 大腸癌 2014年版. 医薬ジャーナル社. 2015, p316-317.

石田 秀行, 赤木 究.

家系図の書き方・読み方の原則.

ガイドラインサポートハンドブック 大腸癌 2014年版. 医薬ジャーナル社. 2015, p318-320.

2014年度

鈴木 興秀, 隈元 謙介, 近範 泰, 福地 稔, 熊谷 洋一, 石橋 敬一郎, 持木 彫人, 石田 秀行, 赤木 究, 山口 研成.

リンチ症候群に発生した切除不能・進行大腸癌に対する化学療法.

癌と化学療法. 2014, 41(12), p.1770-1772.

山本 剛, 赤木 究.

次世代シーケンサー.

家族性腫瘍. 2014, 14 (2), p40-42.

古井 陽介, 川良 毅人, 福井 崇史, 藤森 浩, 榎藤 延久, 角田 美穂, 赤木 究.

リンチ症候群遺伝子診断のための PMS2 遺伝子検査.

BIO Clinica . 2014, 29(2), p88-90.

石田 秀行, 岩間 毅夫, 富田 尚裕, 小泉 浩一, 赤木 究, 石黒 めぐみ, 渡邊 聡明, 杉原 健一.

遺伝性大腸癌診療ガイドラインによる診断・治療.

日本臨牀. 2014, 72(1), p143-149.

2013年度

甲畑（照井） 宏子, 沼部 博直, 赤木 究.

文献検討: 遺伝性腫瘍領域における遺伝学的検査の曖昧な結果が与える心理社会的影響.

日本遺伝カウンセリング学会誌. 2013, 34(4), p147-160.

田中屋 宏爾, 石田 秀行, 赤木 究, 隈元 謙介, 松原 長秀, 富田 尚裕, 山崎 理恵, 金谷 信彦, 青木 秀樹, 竹内 仁司.

Lynch 症候群の臨床像と診断.

消化器外科. 2013, 36: p491-499.

石田 秀行, 隈元 謙介, 石橋 敬一郎, 松澤 岳晃, 石畝 亨, 桑原 公亀, 傍島 潤, 岩間 毅夫, 赤木 究.

家族性大腸腺腫症の診断・治療の要点.

消化器外科. 2013.3, 36(3),p 347-357.

2012年度

横枕 令子, 清水 美津江, 角田 美穂, 吉田 崇, 武井 寛幸, 赤木 究.

遺伝性乳癌ハイリスク家系の診療体制構築を目的とした分析的調査研究.

乳癌の臨床. 2012, 27(6). P766-777.

堀尾 留里子, 高橋 朱実, 角田 美穂, 川目 裕, 赤木 究.

*MSH2*遺伝子3'領域に大規模欠失 を認めたLynch症候群の1例.

家族性腫瘍. 2012, 12 (1), p21-25.

古井 陽介, 川良 毅人, 福井 崇史, 籾森 浩, 横山 士郎, 権藤 延久, 角田 美穂, 赤木 究.
リンチ症候群遺伝子診断のための *PMS2* 遺伝子検査.

家族性腫瘍. 2012, 12 (1), p26-28.

赤木 究.

発症経路を異にする *KRAS*, *BRAF* 遺伝子変異を持つ大腸癌の臨床病理学的特徴の検討.

大腸癌 NOW. 2012, p94-102.

2011年度

赤木 究, 角田 美穂, 原 浩樹, 門脇 重憲, 山口 研成, 西村 洋治, 八岡 利昌, 田中洋一.

発症経路を異にする*KRAS*,*BRAF* 遺伝子変異を持つ大腸癌の臨床病理学的特徴の検討.

日本大腸肛門病学会雑誌. 2011, 64(8), p 526.

赤木 究, 新井 吉子.

Quenching probe を用いたTm 解析法による簡便で迅速な*KRAS*,*BRAF* 遺伝子変異同時測定に関する検討.

臨床病理. 2011, 59(8), p757-62.

赤木 究.

第4回国際消化管遺伝性腫瘍学会総会 International Society for Gastrointestinal Hereditary Tumor (InSiGHT) 参加報告.

家族性腫瘍. 2011, 11 (2), p 55-56.

赤木 究.

がん患者のヘルスアセスメント再入門.

血液検査を読む：腫瘍マーカー がん看護 1 + 2 月増刊号. 南江堂. 2011, 16, p 140-142.

2011年以前

赤木 究.

がんの弱みを垣間見た瞬間. サイエンスカフェへようこそ！2

富山房インターナショナル. 2010, p 35-56.

赤木 究.

遺伝カウンセラーのための臨床遺伝学講義ノート.

第5章がん・遺伝性腫瘍の疾患の理解. オーム社. 2010.10.25, p103-118.

赤木 究.

その他の遺伝性大腸癌.

大腸癌 FRONTIER. 2010, 3 (3), p139-144.

赤木 究.

第3回国際消化管遺伝性腫瘍学会総会(InSiGHT) 概要報告.

家族性腫瘍. 2010, 10(1), p49-50.

網倉 克己, 坂本 裕彦, 八岡 利昌, 西村 洋治, 田中 洋一, 山口 研成, 赤木 究.

大腸癌, 膵癌患者における血漿中の変異 DNA 解析の意義.

埼玉県医学会雑誌. 2007, 42 (2), p419-423.

山本佳世乃, 仲島晴子, 土橋文枝, 片桐三枝子, 新井良子, 田村智英子, 赤木 究.

遺伝性腫瘍における公的医療費助成制度の実態調査.

家族性腫瘍. 2007, 7 (1), p54-58.

武田 祐子, 村上 好恵, 田村 和朗, 吉田 輝彦, 恒松 由記子, 野水 整, 小杉 眞司, 富田 尚裕, 内野 眞也, 権藤 延久, 赤木 究, 新井 正美, 田村 智英子, 三原 喜美恵, 泉 秀子, 大松 重宏, 野間 千夏子, 菅野 康吉.

網膜芽細胞腫の遺伝カウンセリングの展開ーロールプレイにSPIKES を取り入れたグループワークの発表内容からー. 家族性腫瘍. 2004, 4(2), p64-68.

赤木 究.

DNA マイクロアレイによる癌関連遺伝子の機能解析.
ゲノム医学. 2002, 2(1), p29-34.

山口 研成, 赤木 究, 石井 勝.

腫瘍マーカーハンドブック 癌遺伝子診断法の原理.
医薬ジャーナル社. 2001, p198-206.

赤木 究.

DNA マイクロアレイによる癌関連遺伝子の機能解析.
医学のあゆみ. 2001, 196(6), p 420.

柏木 浩暢, 内田 和彦, 赤木 究.

アレイ CGH と tet システムを用いた癌関連遺伝子解析.
実験医学別冊 ポストゲノム時代の実験医学講座 1 ゲノム機能研究プロトコール.
羊土社. 2000, p49-57.

赤木 究, 山村研一.

Eμ-myc トランスジェニックマウスからのリンパ腫細胞株の樹立とその解析.
組織培養. 1992, 18(10), p372-375.

赤木 究, 山村研一.

外来遺伝子のマイクロインジェクション.
Oncologia. 1991, 24(4), p105-107.

